

特長（経営学科）

中小企業論

日本の中小企業は企業数で 99%、従業員数で 70%を占めています。大企業を支えているのは多くの中小企業であり、日本経済の原動力なのです。授業では中小企業の実態、その活性化のためにはどうすべきかを学びながら経営のあり方について考察していきます。また就職活動をするにあたって企業を見る視点を養い、働きがいのある企業を見抜く力を身につけることができます。

マーケティング論

今の日本経済ではモノが飽和状態になり、商取引においては消費者の力が格段に強くなっています。そのような状況では、企業がどれだけ素晴らしい商品を世に送り出しても、消費者に受け入れられないことが起こりえます。そのような事態を避けるために必要なのがマーケティングです。授業ではその基本について学び、マーケティング的思考ができるようになることをめざします。

財務会計論

貸借対照表や損益計算書といった企業の財務諸表を読むための基礎知識を習得することを目的としています。さらにはそのような会計情報や日本経済新聞などの会計記事を利用し、企業の収益性や成長性の分析を行うことができるよう学習を発展させていきます。

金融機関論

金融サービスは、現代の生活に不可欠なライフライン・サービスの一つです。金融の問題は決して関係者だけのものではなく、生活者である私たちとも深い関わりを持っています。授業はこうした金融サービスを理解するための基礎的な知識（実態と理論の両方）をふまえながら、不良債権などの日本の金融が直面している課題にもアプローチしていきます。

行政法

行政の意義と役割を、具体的な事例をもとに解説を行います。急速に変化する行政法を見据え、国民自身の手による行政の実現についても考えます。授業では理論と実証とを関連づけ、行政法の体系的な理解と公務員の仕事等への理解を深めます。授業を通じて法的事物の見方（リーガルマインド）を身につけ、抽象的な思考の訓練をすることもめざします。

スポーツ指導論

指導者として単なるスポーツの技術向上だけでなく、どうすれば選手の最大限のパフォーマンスを引き出すかについて考察していきます。また指導者としての心構えや視点から、動機づけやトレーニング（フィジカル面・メンタル面）についての基本的な考え方や基礎的知識についても学びます。